

プロ野球 オリックスバファローズ

金子千尋投手からの贈り物

プロ野球選手であり、本校の卒業生でもあるオリックスの金子千尋投手が、朝陽小学校の校庭に芝生をプレゼントしてくれることになりました。実は、金子投手は勝利投手になって1勝するごとに10万円の貯金をしているそうです。金子投手は“ふるさとの学校のグラウンドを芝生化にしたい”というねががあり、今シーズンの貯金で出身校である本校の芝生化を応援したいとの話になりました。

芝生化については、南校舎側の10m×60mの帯状として、創立120周年式典があったこの年に、偶然にも卒業生の金子投手からのビッグな贈り物が届く形となりました。この出来事には、この記念すべき年に何か神様が、卒業生の金子投手を本校に導いて下さったような感じがしています。

(平成21年度 学校通信より)

金子千尋投手来校！ビッグなクリスマスプレゼント

平成22年12月24日（金）に金子投手が来校してくれました。念願の全校での「金子千尋投手、ありがとうの会」ができました。体育館に入場した金子投手に大声援が起きました。金子投手から次のメッセージをいただきました。

「芝生をプレゼントした理由は、自分に子どもができて遊ぶ環境を考えた時、転んでも痛くない思いきり遊べる場所を子どもたちに提供したかった。そして、裸足でどんどん遊んで欲しい。

プロ野球のこの1年を振り返ると勝てないときがあった。けれども、応援している人たちのことを思いあきらめないで投げ続けることができた。結果、13連勝という結果を残すことができた。投げる前は、打たれたらどうしようとか、負けるかもしれない、という不安はあるが、誰でも不安になるのは当たり前。その不安を取り除くのは、試合の無い日の練習しかない。誰が観ていても観ていなくても恥ずかしくない練習を重ねてきたつもりだ。「野球の神様」は必ずいると信じている。神様は、一生懸命やっている人を見捨てないで見ている。人が観ていないところでもがんばって練習している姿を観てしてくれる。野球だけではなく、バスケの神様、サッカーの神様、バレーの神様がいる。どんなことでも、打ち込んでいるものには神様がいて観てくれる。がんばって欲しい。

最後に、かなわない「夢」は無い。絶対無理だと決め付けない。やってみないとわからない。自分もひとつひとつ「夢」に近づいてきた。チャンスは絶対にある。あきらめずに挑戦して欲しい。『頑張れ』でなくて『顔晴れ！（がんばれ）』ということばを使うようにしている。ひたすら力を入れてがんばるといよりも、笑顔を忘れずに挑戦しようという気持ちを大事にして欲しい。」



(平成22年度 学校通信より)